



アトリウム弦楽四重奏団
Atrium String Quartet

ロンドン(2003)とボルドー(2007)の二つの国際弦楽四重奏コンクールを制覇した話題のカルテットが待望の日本初公演!!

2009.10.1 (木) 19:00開演 (18:30開場)

えぽあホール (江別市民文化ホール) TEL.011-387-3120

入場料/前売券 3,000円(当日券 3,500円) 全席自由

入場券取扱所/えぽあホール・江別市民会館・

市内各公民館・道新プレイガイド・
4プラプレイガイド・大丸プレイガイド

主催: えべつ楽友協会

共催: 財団法人北海道文化財団・江別市・
江別市教育委員会

後援: 北海道・北海道教育委員会

お問い合わせ/ TEL.011-386-7051(木太)・
011-389-8581(西川)

本事業の共催である(財)北海道文化財団は
道民の文化活動を応援しています。

Program -----

ショスタコーヴィチ:
弦楽四重奏曲 第5番 変ロ長調 作品92
Shostakovich: String Quartet No.5 op.92

チャイコフスキー:
弦楽四重奏曲 第2番 ヘ長調 作品22
Tchaikovsky: String Quartet No.2 op.22

—Pause—

ボロディン:
弦楽四重奏曲 第2番 ニ長調
Borodin: String Quartet No.2



HOKKAIDO
ARTS FOUNDATION
財団法人 北海道文化財団

「アトリウム弦楽四重奏団は、トップクラスの弦楽四重奏団のみが持つ音楽感と直覚を見せてくれた」

— オックスフォード・タイムズ 2007年1月26日

「モーツァルトの最初の音で、このカルテットが美しいバランス、溶け合った音色を有し、彼らが作る音楽が深い理解に基づいていることが、すぐわかる。音の大小の幅、音節の発音はすべて楽譜にかかっていることが彫刻のように立体的に表現されていて、それぞれの楽章の表情をくっきりと描きだしている」

— グラモフォン誌 2004年4月17日

アトリウム弦楽四重奏団



アトリウム弦楽四重奏団は、ロシア出身としては初めて、世界で有数の弦楽四重奏の国際コンクール二つに優勝したグループである。まずは、2003年4月、ウイグモアホールで開催されたロンドン国際弦楽四重奏コンクールで1位と聴衆賞を獲得し、同時に国際的に頭角を現した。シヨスタコーヴィチの弦楽四重奏曲第5番を演奏し、BBCラジオ3でのデビューも果たし、EMIからのデビューCDの録音が可能。そして、2007年、フランスで開催された第5回ボルドー国際弦楽四重奏コンクールで、優勝とMMSG賞を受賞。2000年秋、タネイエフ弦楽四重奏団のチェリストであるジョゼフレヴィンソン教授の指導のもと、サンクトペテルブルク音楽大学に学ぶ4人により、アトリウム弦楽四重奏団は結成。アルバン・ベルク弦楽四重奏団、フェルメール・カルテット、ダニエル弦楽四重奏団のメンバー、そしてベルリン芸術大学のフェルツ教授の指導を受けた。これまでに、モスクワ(2001年)、クレモナ(2002年)、ワイマール(2002年)のそれぞれの国際コンクールで2位を受賞するという着実なステップを踏んできている。2002年のワイマールで入賞したことで、シヨスタコーヴィチとトビュッシーの録音が可能になった。

ロンドン国際弦楽四重奏コンクールで優勝したことで国際的に知名度が拡大し、ベートーヴェン・フェスティバル、シュヴェツインゲン、オランダなどの音楽祭に招かれるだけでなく、イタリア、フランス、デンマーク、スペイン、オランダ、イギリスなど各地で演奏会ツアーに招かれるようになった。さらに、2006年2月から1年間に、オランダ弦楽四重奏アカデミーのレジデント・カルテットを務めた。オランダでは、オランダ弦楽四重奏団の創設者でありチェリストのシュテファン・メッツの指導を受けた。現在は、ベルリンに拠点を置く。

アレクセイ・ナウメンコ (ヴァイオリン)

Alexey Naumenko

1979年、レニングラードに生まれる。5歳よりヴァイオリンを始め、7歳でリムスキー・コルサコフ音楽学校に入学、タチアナ・コルシメマーに師事。1999年、セント・ペテルスベルク音楽大学に入学し、奨学生としてV.オヴチャック教授のもとで学ぶ。ソリストとして、ロシアの各オーケストラと共演するだけでなく、音楽祭で演奏。ドイツ、オーストリア、イタリア、ロシア各地のマスタークラスで演奏。若い演奏家たちのコンクール「ヴィルトゥオーゾ2000」で2位を獲得。2000年には、音楽大学で学ぶ仲間とともに、アトリウム弦楽四重奏団を結成。2007年4月から、ベルリン芸術大学大学院にてフェルツ教授に師事。2007-2008年シーズンにはウクライナ国立オーケストラと共演する。

アントン・イリュニン (ヴァイオリン)

Anton Ilyunin

1979年トルコのトルクメニスタン州アシュカバッドの音楽一家に生まれる。母にヴァイオリンの手ほどきを受けてから、英才教育をする音楽学校に入学。9歳ですでにオーケストラと共演した。1995年から3年間、トルコで開催される若手のための国際音楽コンクールに数多く優勝。1996年より2000年まで、トルクメニスタン国立音楽大学で学ぶ。トルコ国立交響楽団と共演し、トルコの作曲家による現代作品を初演。2000年にロシアに移り、サンクトペテルブルク音楽大学に入学。アレクサンダー・スタング教授(タネイエフ弦楽四重奏団のヴァイオリン奏者)のもとで、奨学生として学ぶ。2002年最優秀で卒業。2001年から2006年まで、テルミカーノフが音楽監督を務めるサンクト・ペテルブルク・フィルで演奏。2004年から2年間は、第2ヴァイオリンの副首席奏者として演奏した。2007年4月からは、ベルリン芸術大学大学院でフェルツ教授に師事。アトリウム弦楽四重奏団の創立メンバーである。

ドミトリー・ピツルコ (ヴィオラ)

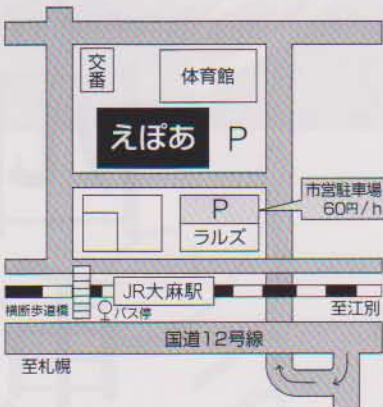
Dmitry Pitulko

1978年レニングラードの音楽一家に生まれる。5歳でヴァイオリンを始める。1994年、リムスキー・コルサコフ音楽学校に入学し、パンフィロヴァ教授(サンクト・ペテルブルク・フィルのヴィオラを長年務めた)のもとで学ぶ。1996年、若い奏者のためのアルペナ国際コンクール(ブルガリア)で優勝。ソリストとして、サンクト・ペテルブルク拠点の各オーケストラと共演。1999年から20004年まで、ゲルギエフ率いるマリンスキー劇場のオーケストラのメンバーとしてアメリカ、ヨーロッパ、アジアなど世界各地をツアーした。2004年初めよりアトリウム弦楽四重奏団のメンバーとなる。ストビチュエフ教授(タネイエフ弦楽四重奏団のヴィオラ)のもとで学んだのち、2004年5月サンクト・ペテルブルク音楽大学を卒業。2006年2月から2007年3月までオランダ弦楽四重奏アカデミーにてメッツ教授のもとで学び、2007年4月より、ベルリン芸術大学大学院でフェルツ教授に師事。

アンナ・ゴレロヴァ (チェロ)

Anna Gorelova

1978年レニングラードに生まれる。10歳よりチェロを学ぶ。音楽学校で学びながら、ロシア、ヨーロッパのオーケストラと共演。ロシア国内で開催されるいくつものコンクールに優勝する。リムスキー・コルサコフ音楽学校では、サンクト・ペテルブルク弦楽四重奏団のチェリストのレオニード・シュカエフ教授のもとで学ぶ。2003年最優秀で卒業する。セルゲイ・チェニャディエフ教授(サンクト・ペテルブルク・フィルの首席を務めた)とアレクセイ・アマラルスキー教授に師事。ホリス・ベルガメンシコフとナタリア・ゲートマンからも指導を受ける。2006年2月より2007年3月までオランダ弦楽四重奏アカデミーにて、メッツ教授に師事。2007年4月より、ベルリン芸術大学で学ぶ。



えぼあホール (江別市民文化ホール)

江別市大麻中町26-7

- *車椅子の方、介護の必要な方には、あらかじめお席を用意しますので9月25日までに問い合わせ先にご連絡ください。
- *都合により曲目、曲順、出演者などを変更させていただく場合がございます。なにとぞご了承ください。
- *未就学児童の入場はご遠慮ください。



高い演奏力に世界中が絶賛!

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第10番変ホ長調 op.74 「ハーブ」
シヨスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第5番変ロ長調 op.92

アトリウム弦楽四重奏団

【アレクセイ・ナウメンコ (Vn) アントン・イリュニン (Vn) ドミトリー・ピツルコ (Va) アンナ・ゴレロヴァ (Vc)】
録音：2008年2月18-22日

●ZTT 080702 / Zig Zag Territoires (直輸入盤) / オープン価格

輸入・販売元/株式会社キングインターナショナル 03-3945-2333